

音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース
(マネージャー専攻)
1年次 受講科目一覧

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅰ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅰ（後期）	34	2	1
講義	一般教養Ⅰ	68	2	4
講義	音楽史Ⅰ	68	2	4
講義	舞台知識Ⅰ	68	2	4
講義	P C 知識Ⅰ	68	2	4
講義	音楽芸能知識Ⅰ	68	2	4
実習	プロダクトデベロップメントⅠ	68	2	2
実習	デザインⅠ	68	2	2
演習	企画制作基礎Ⅰ	68	2	4
演習	企画制作応用Ⅰ	68	2	4
演習	スタッフワーク基礎Ⅰ	68	2	4
演習	スタッフワーク応用Ⅰ	68	2	4
講義	業界知識Ⅰ	72	2	4
合計		888	26	46

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	一般教養Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA/音響コース/サウンドデザイナーコース/照明コース/ステージ総合コース/音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴						
授業概要						
①企業に就職するために必要な一般教養としての知識とスキルを身に付ける。 ②人として信頼されるための第一印象の重要性、ビジネスマナー(マナーの5原則・敬語・電話対応など)、履歴書の作成方法、面接対策。 ③卒業後の自分を見据えるためのキャリアビジョンを設定し、実現に向けて何が必要かを考えていく。						
到達目標						
・社会人になるための心構え、教養、作法を身に付け、自身の目標を明確にし、その目標に向かってのプランニングをできるようになる。 ・身だしなみや挨拶の仕方、正しい敬語の使い方など社会人として必要な一般常識、並びに名刺交換の作法、電話対応、ビジネスメールの書き方など、ビジネスマナーの知識を身に着ける。 ・就職活動の際に必要な履歴書及びエントリーシートの作成ができるようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	・自分の第一印象は？、信頼印象力、自己分析 ・キャリアビジョン(目標設定)
【前期】 4～7回目	・マナーとは？、マナーの5原則 ・就活の身だしなみ ・敬語とは？(尊敬語、丁寧語、謙譲語、クッション言葉、間違いやすい敬語、自己紹介文作成)
【前期】 8～10回目	・コミュニケーション(グループコンサルティング) ・電話応対(かけ方、受け方、取り次ぎ方)
【前期】 11～13回目	・ビジネスメール ・就活についての基本事項、企業研究
【前期】 14～17回目	■前期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自分の第一印象・キャリアビジョンについての自分の考えをまとめたものを記述する。
【後期】 18～20回目	・キャリアビジョン(自己分析) ・企業研究、自己PR、志望動機作成 ・感情のコントロール
【後期】 21～24回目	・履歴書作成 ・エントリーシート作成 ・面接練習(個人、グループディスカッション)
【後期】 25～27回目	・一般常識、SPI対策 ・名刺交換 ・冠婚葬祭マナー
【後期】 28～30回目	・面接対策 ・履歴書写真撮影、メイク ・食事のマナー
【後期】 31～34回目	■後期試験:試験時間内に穴埋め問題を行い、授業内容の理解度を試験の得点で判断する。 自己PRをまとめたものを記述する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	自分の第一印象について知ること、自分の長所をどのように活かし、短所をどのように変えていけばよいのかについて考え、自己成長につなげて行きましょう。 また、社会人として必要なビジネスマナーや一般常識も学んでいきます。自分のキャリアを考える一年にしていきましょう。
備考	授業ごとに講師が準備した教材を使用。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽史Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	音楽史Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA/音響コース/サウンドデザイナーコース/照明コース/ステージ総合コース/音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。近年ではNUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かしポピュラーミュージックの歴史についての講義を行う。					
授業概要						
①ジャズやブルースの時代まで遡り、1950年代のエルヴィス・プレスリーや1960年代のビートルズなど、その時代を象徴するアーティストを時代背景と並行して学ぶ。 ②現代のポピュラーミュージックに至るまでの流行や低迷の歴史、並びに変遷を学び一つの事柄(ジャンルや、アーティスト、楽曲等)に対して深く掘り下げ、他との関連性を調べる習慣を身に付け、「知る」という行為、「探究心」を育てる。						
到達目標						
・音楽史を学ぶ事により、数々のジャンルや時代背景についての理解を深め、それぞれの現場において、演者が目指すであろう音楽像を、様々な音楽ジャンルの中より察知し、具体的な提案や、技術提供を通して、音作りや演出等に活かせるよう感性を磨き、担当するアーティストの活動がより良いものとなるよう常に研究・模索する人物であること。 ・音楽業界人の一般教養として、あるいは、音楽についての会話を通じて、円滑なコミュニケーションを図る一つのツールとなる様、その知識を活用できる人物になること。						

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	ジャズ、ブルースの誕生と時代背景の講義。
【前期】 5～7回目	1950年代のロックンロールの誕生などアメリカにおける流行音楽の講義。
【前期】 8～11回目	1960年代のビートルズの登場などイギリスにおける流行音楽の講義。
【前期】 12～14回目	1970年代以降、多様化するロックのジャンルの概要についての講義。
【前期】 15～18回目	■前期試験：前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 19～21回目	ハードロックの流行や多数の派生ジャンルの登場などの講義。
【後期】 22～24回目	1980年代のメタルやポップスの流行、MTVの登場などの講義。
【後期】 25～27回目	1990年代の様々な流行音楽の講義。
【後期】 28～30回目	その他、様々なジャンルについての講義。
【後期】 31～37回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽業界に関わる人として、音楽の歴史を知るとはとても重要なことのひとつです。 授業を通して学んだことは、音作りや演出などに直接反映され、将来の仕事に繋げることができます。
備考	授業毎に講師作成の資料を配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	電気・舞台知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	舞台知識Ⅰ	年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA/音響コース/照明コース/ステージ総合コース/音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	屋内外、ライブハウスイベントなどの様々な現場で、音響スタッフ・及びオペレーターとして活躍。なお現場の電気及び電源知識の習得する。また、大型イベント・博覧会舞台監督、進行チーフを担当。イベントの企画制作・進行・タレントブッキング・マネージメント・進行台本作成・企画書作成・プレゼン・音響プラン作成、プロドラマー・ドラム講師・D.T.M楽曲制作・作詞・作曲等様々な経験と知識・技術を活かし各方面で活躍中。				
授業概要					
音楽・芸能・舞踏その他における、電気・舞台の基本知識と応用を身に付ける。華やかな演者の表舞台を裏から支えるスタッフの重要性を学ぶ。					
到達目標					
その時々、の現場関係者・スタッフとの円滑なコミュニケーションがとれる様、社会人としての常識を含め、日頃から積極的な挨拶・所作を基本に安全第一に、どんな状況でも冷静に行動できる様に、現場に必要な基本知識を身に付け、現場に強いスタッフの育成を目指します。現場経験の積み重から成長していく為の大切な知識習得の重要性を理解し、多種多様な現場でも通用するフレキシブルなスタッフの育成を目指します。					

授業計画・内容	
【前期】 1～4回目	電気・電流の講義① 電気の発生・電気とは
【前期】 5～7回目	電気・電流の講義② 電気の極性について・送電について
【前期】 8～12回目	電気・電流の講義③単相三線・三相三線
【前期】 13～15回目	電気・電流の講義④電気の安全・感電/漏電事故
【前期】 16～17回目	前期の復習・小テスト・前期試験
【後期】 18～20回目	ステージ・舞台に関しての講義①各所の名称・尺貫法
【後期】 21～22回目	ステージ・舞台に関しての講義②電源のとり方
【後期】 23～24回目	ステージ・舞台に関しての講義③電流・電圧・抵抗／電源計算・E/R/V
【後期】 24～31回目	ステージ・舞台に関しての講義④周波数特性
【後期】 31～34回目	後期の復習・小テスト
評価方法	S(90点以上) /A(80点以上) /B(70点以上) /C(60点以上) /D(60点未満) /E(未受講)の6段階評価 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の到達点を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	学ぶ事は、前に進む為の行動です。現場は、場数で培われます。経験を重ねて行く為には、しっかりと基礎を学んでいく事が最重要です。頑張りましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識 I		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	PC知識 I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA/音響コース/サウンドデザイナーコース/照明コース/ステージ総合コース/音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴						
授業概要						
情報に関する法規・制度や情報社会における個人の責任、情報モラル、個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的などの情報リテラシーからWord/Excel/PowerPointなどの基礎的なオフィスソフトの使い方を理解して就職後に必要な最低限の技術を身に付ける。						
到達目標						
・情報や情報メディアの特性をふまえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付ける。 ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任および情報モラルについて理解する。 ・情報技術が人や社会にはたす役割と及ぼす影響について理解する。 ・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた文書と同様の文書を作成できることを目標とする。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	著作権、肖像権等について/Wordで案内状の作成
【前期】 4～7回目	知的財産権について/Excelの基本を学ぶ
【前期】 8～10回目	デジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 11～13回目	音のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【前期】 14～17回目	画像のデジタル化について/Excelで資料解釈の問題を解く
【後期】 18～20回目	動画のデジタル化について/GiamでアニメーションGIFを作成
【後期】 21～24回目	ネットワークについて/GiamでアニメーションGIFを作成
【後期】 25～27回目	TCP/IPについて/Pythonでプログラミングを実習する
【後期】 28～30回目	データの圧縮について/PowerPointを実習する
【後期】 31～34回目	データの暗号化について/PowerPointを実習する
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Word/Excel/PowerPointは、ビジネスで標準的に使われているOfficeソフトウェア群です。これを使いこなすことは、仕事をする上で欠かせない技能になります。さらに、シンギュラリティを迎える20年後において、コンピュータの基礎基本を学ぶことは、それに順応できる力となります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	マネジメント知識Ⅰ		授業形態 / 必選	講義	選択	
	学則別表上表記	音楽芸能知識Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベント主催者として活躍中。また、様々な音楽アーティストのブッキング・マネジメントを担当。全国各地のイベント主催者と交渉。アーティストのスケジュールを管理。					
授業概要						
マネージャーの業務は多種多様であるため、それぞれの知識を指導。基本的な業務内容から、役に立つ知識を学ぶ。						
到達目標						
・マネージャーとして一番大事なコミュニケーション力を身につける。 ・エンタテインメント業界の内容を知る事で繋がりや流れを理解し、マネージャーのジャンル(タレント、俳優、歌手等)の仕事内容を理解する。 ・著作権を学ぶことでミュージックビジネスの基本を知り、プロダクションの業務内容や関連組織の理解で自分に合ったマネージャースタイルを考える。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	マネージャーとは？マネジメントとは？基礎から学ぶ
【前期】 4～7回目	著作権について。
【前期】 8～10回目	アーティストをどうマネジメント・宣伝していくか
【前期】 11～13回目	業界用語・スケジュール管理について
【前期】 14～17回目	前期試験:前期の授業内容の筆記試験を実施。
【後期】 18～20回目	SNS・広告にてマーケティングの仕方
【後期】 21～24回目	香盤表の理解
【後期】 25～27回目	好きな仮想アーティストを作り、マネジメントしてみる。
【後期】 28～30回目	ミュージックビジネス・業界のまとめ
【後期】 31～34回目	後期試験: 筆記試験。前期後期のまとめ
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	マネージャーはとても責任がある仕事です。知識だけでなく担当するタレントのメンタル面でのケアや、関係者へのコミュニケーション力、マネージャーのプロデュース力などでマネージャーの力で結果が変わってきます。しっかり身につけ楽しく理解しましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プロダクトデベロップメントⅠ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	プロダクトデベロップメントⅠ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	デザイナー歴5年以上。アーティストのジャケ写・イベントフライヤーを1000枚以上制作。自身のアパレルや、さまざまなアパレルのデザインも担当。音楽業界のジャンルによってデザインや流行・商品開発・マーケティングなどを行う。					
授業概要						
デザインの基礎・スキルを身につけながら、どの商品をいくらで作り、いくらで売のかなど必要な知識を全て指導・実践し感覚を身につけ育てる。SNSや流行に対してのリサーチ力も身につける。						
到達目標						
・グッズ作成をするだけでなく、なぜデザインが必要なのか、なぜ高いデザインスキルを身に付けなくてはいけないのかというマインドを育てる。 ・グッズ作成をする上で必要な幅広い知識を身につけ、マーケティングの知識、SNSでの発信方法、またそれに伴う影響力も学び考えることで、プロダクトデベロップメントという枠を「広報の知識」と広域に捉え、より実戦的なスキルが身につくことを目指す。 ・イラストレーターでの簡単なデザイン作成。一般的なマーケティング知識を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	広告・マーケティングとは何か PRの必要性は
【前期】 4～7回目	デザインの基礎知識。プロの人たちは何を作って何を売ってる？自身でリサーチする。
【前期】 8～10回目	デザインに触れる。簡単なデザインを作ってみる。
【前期】 11～13回目	デザインと企画。SNSの活用方法を学ぶ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 18～20回目	イベントを企画する。
【後期】 21～24回目	名刺をデザインしてみよう。セルフブランディング。
【後期】 25～27回目	セルフブランディングを活かし、自分のロゴや好きなアーティストの架空のロゴなどを作ってみよう。
【後期】 28～30回目	学校のオフィシャルグッズやロゴを手がけてみよう。
【後期】 31～34回目	■後期試験:記述式試験を実施。仮想アーティスト・バンドの立ち上げ・活動内容・グッズ・宣伝の仕方など細かく設定させ、イメージ力、マーケティング力を評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	グッズ作成をする上で必要な幅広い知識を身につけ、マーケティングの知識、SNSでの発信方法、またそれに伴う影響力も学び考えることで、プロダクトデベロップメントという枠を「広報の知識」と広域に捉え、より実戦的なスキルを身につけることができます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	Webデザイン I		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	デザイン I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	絵画教室講師、3DCG映像制作会社勤務を経て、現在フリーランスのイラストレーターとして活動中。 大手食品メーカー店内イラストや冊子挿絵、様々なパンフレットデザイン等、幅広く活動。作家として、ライブペイントや個展・グループ展も開催。その他、デザイン系専門学校講師兼任。					
授業概要						
タレント・アーティストのオフィシャルホームページやファンクラブの運営を想定し、実際にWebページの作成方法及び編集方法を学ぶ。 学内アーティストをピックアップし、発展的なプロモーション活動を行う。						
到達目標						
・タレント・アーティストのオフィシャルWEBサイトやファンクラブの運営を想定し、実際にWEBサイトを制作します。 ・WEBデザインという新しいコミュニケーションの方法を学び、ユーザーの目線に立ったサイト構築を学習します。 ・WEBサイトを構築する機会に困らない基礎知識を身に着け、完成図を伝えられるようになることが到達目標です。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	Macの基礎・PC基礎知識。
【前期】 4～7回目	Adobe Photoshopを使用したサイトに掲載する写真の加工方法。
【前期】 8～10回目	Adobe Illustratorを使用したロゴやイラストの制作方法。
【前期】 11～13回目	デザインの基礎知識。
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 18～20回目	WEBサイトの基礎知識。
【後期】 21～24回目	アーティストのWEBサイト制作①
【後期】 25～27回目	アーティストのWEBサイト制作②
【後期】 28～30回目	アーティストのWEBサイト制作③
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	多様な端末が普及したことで現在インターネットは新しいコミュニケーションツールとして定着しました。 サイト制作者とユーザーのコミュニケーションをより良質にするために、欠かせない知識を習得します。
備考	講師作成資料を適時配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	企画制作基礎Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(136)単位時間	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベントを主催。様々なアーティスト・箱と関わりを持ち、様々なコラボイベントも開催。フェスなどのブッキングやアーティストのBACKDJも担当。また自身の音楽活動の経験を活かした出演者側の視点も理解したイベントに強みを持っている。						
授業概要							
①音響・照明・ローディーチームと意見交換することで、その専門性を活かし、制作陣の納得と観客の感動が同一価値観で結びつく内容を企画する。 ②創作側、演者側の心情まで授業を通じて迫り、今後のアーティストを支える制作業務として大きな経験を積む。							
到達目標							
・イメージする内容を、0から創造、具現化する道のりの困難さと、喜びを体感し、その作品が高品質なエンターテインメントであるということを学ぶ。 ・音響、照明、ローディー、マネージャーなどと共同による企画制作、制作側から演者側に内容を提案。イベントをする楽しさ、やりがいを経験。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	イベントの基礎知識。
【前期】 4～7回目	前期イベントのアーティスト選定。ブッキングの仕方など。
【前期】 8～10回目	アーティストへブッキング。クラスの役割体制作り。予算・概要制作・時系列作成・広報資料作成
【前期】 11～13回目	イベント当日に向けて。台本・出演者への資料を制作。音響照明チームへの連絡。
【前期】 14～17回目	前期試験: 前期授業のまとめを筆記試験にて実施。
【後期】 18～20回目	前期企画イベントのフィードバック。検証。
【後期】 21～24回目	後期企画イベントに向けてアーティスト選定。
【後期】 25～27回目	アーティストへブッキング。クラスの役割体制作り。予算・概要制作・時系列作成・広報資料作成
【後期】 28～30回目	イベント当日に向けて。台本・出演者への資料を制作。音響照明チームへの連絡。
【後期】 31～34回目	後期試験: プレゼンテーションによる実技試験及び後期の授業範囲で筆記試験を実施。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	企画は何より楽しいです。やりがいを感じられます。一つのことをするには沢山の人が必要で役割、協力することの大切さを実感して欲しいです。一人一人がしっかり意見を持ち発言し、それぞれの意見を尊重し、みんなで吟味して作り上げていきましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作応用Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	企画制作応用Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(136)単位時間	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	全国各地にてイベントを主催。様々なアーティスト・箱と関わりを持ち、様々なコラボイベントも開催。フェスなどのブッキングやアーティストのBACKDJも担当。また自身の音楽活動の経験を活かした出演者側の視点も理解したイベントに強みを持っている。						
授業概要							
①音響・照明・ローディーチームと意見交換することで、その専門性を活かし、制作陣の納得と観客の感動が同一価値観で結びつく内容を企画する。 ②創作側、演者側の心情まで授業を通じて迫り、今後のアーティストを支える制作業務として大きな経験を積む。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施							
到達目標							
・イメージする内容を、0から創造、具現化する道のりの困難さと、喜びを体感し、その作品が高品質なエンターテインメントであるということを学ぶ。 ・音響、照明、ローディー、マネージャーなどと共同による企画制作、制作側から演者側に内容を提案。イベントをする楽しさ、やりがいを経験。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	イベントの基礎知識。
【前期】 4～7回目	前期イベントのアーティスト選定。ブッキングの仕方など。
【前期】 8～10回目	アーティストへブッキング。クラスの役割体制作り。予算・概要制作・時系列作成・広報資料作成
【前期】 11～13回目	イベント当日に向けて。台本・出演者への資料を制作。音響照明チームへの連絡。
【前期】 14～17回目	前期試験: 前期授業のまとめを筆記試験にて実施。
【後期】 18～20回目	前期企画イベントのフィードバック。検証。
【後期】 21～24回目	後期企画イベントに向けてアーティスト選定。
【後期】 25～27回目	アーティストへブッキング。クラスの役割体制作り。予算・概要制作・時系列作成・広報資料作成
【後期】 28～30回目	イベント当日に向けて。台本・出演者への資料を制作。音響照明チームへの連絡。
【後期】 31～34回目	後期試験: プレゼンテーションによる実技試験及び後期の授業範囲で筆記試験を実施。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	企画は何より楽しいです。やりがいを感じられます。一つのことをするには沢山の人が必要で役割、協力することの大切さを実感して欲しいです。一人一人がしっかり意見を持ち発言し、それぞれの意見を尊重し、みんなで吟味して作り上げていきましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅰ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅰ	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡にある自身のイベント管理会社にて、ステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。					
授業概要						
①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。 ②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。						
到達目標						
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 4～7回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 8～10回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 11～13回目	LIVEWEEKIに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 21～24回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 25～27回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 28～30回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用 I		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	スタッフワーク応用 I	年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	福岡にある自身のイベント管理会社にて、ステージマネージメントやプロデュース業務をメインとし、イベント制作や企画などのサービスを行う。					
授業概要						
①音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。 ②現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。 ※基礎で学んだ内容をもとに2コマ目として実施						
到達目標						
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽スタッフとは？音楽スタッフの現状、舞台用語、楽器名称などの基礎知識。
【前期】 4～7回目	制作スタッフの立ち位置、ローディー、照明、舞台制作とのコミュニケーションなど。
【前期】 8～10回目	4バンド程度の実習、タイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【前期】 11～13回目	LIVEWEEKIに向けての各セクションとの打合せ、STAGE PLOTの回収、各オペレーターに依頼、打ち合わせ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期試験の復習、2バンドのタイムスケジュール作成、進行、舞台監督など。
【後期】 21～24回目	授業内で行った実習に対して反省及び改善。
【後期】 25～27回目	実際にトラブルを起こし、対処する。(機材トラブル等)
【後期】 28～30回目	4バンド、ダンスやパフォーマーなどがあるフェスの想定のもとにタイムスケジュール作成、進行、舞台監督、撤収作業など。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /技術力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、計画立案、タイムスケジュール作成、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅠ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅰ	年次	1年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA/音響コース/サウンドデザイナーコース/照明コース/ステージ総合コース/音楽スタッフ総合コース/アーティストスタッフコース						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
音楽業界に関わる様々な業種について理解を深めることで、音楽業界の仕組みを学ぶ。							
到達目標							
前期では音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割とコンサート業界、レコーディング業界 の仕事内容について学びます。							
後期では音楽ビジネスに関わる権利、著作権、印税の仕組み、著作物について学びます。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	音楽業界の仕組み① 音楽業界のお仕事～プロダクションの働きについて理解する 音楽業界の仕組み② レコード会社の働きについて理解する 音楽業界の仕組み③ 音楽出版社とJASRACの働きについて理解する
【前期】 4～7回目	イベント・コンサート業界の仕組み イベント・コンサートに関わる各セクションの仕事について理解する コンサート制作の仕事 イベントやコンサート制作会社の働きについて理解する コンサートスタッフの仕事 舞台監督や各業種の仕事内容について理解を深める コンサート関連の技術系の仕事の流れ PA・照明・ローディーの仕事の流れについて理解を深める
【前期】 8～10回目	業界用語と舞台用語 業界や現場で使われる用語を理解する 音源制作の仕事① CDが出来るまでの流れと楽曲発注について理解する 音源制作の仕事② プリプロ～レコーディングの流れを理解する
【前期】 11～13回目	音源制作の仕事③ マスタリングについて理解を深める 音源制作の仕事④ ジャケット制作について理解する 音楽ビジネスの現状 変化する音楽産業とミュージシャンの収入について
【前期】 14～17回目	ここまでのまとめとテスト 前期テスト テストの解説
【後期】 18～20回目	音楽ビジネスに関わる権利 ① ミュージシャンに関わる権利について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ② 著作権について理解する 音楽ビジネスに関わる権利 ③ 実演家とレコード製作者の両方に認められている権利について理解する
【後期】 21～24回目	音楽ビジネスに関わる権利 ④ 原盤について理解する 著作権管理事業の現状 著作権管理事業について理解する JASRAC の問題点 JASRAC の功罪などについて理解する 著作者に関わる印税の仕組み① CD販売の場合の著作権使用料による印税収入などについて理解する
【後期】 25～27回目	著作者に関わる印税の仕組み ② 動画投稿(共有)における著作権使用料などについて理解する 著作者に関わる印税の仕組み ③ 放送使用における著作権使用料について理解する 著作隣接権に関わる印税の仕組み アーティスト印税の計算などについて理解する
【後期】 28～30回目	著作権にまつわる問題点 インターネットの普及でばら撒かれる海賊版の氾濫などについて理解する 著作物を利用する方法① ビジネス契約と著作権～「所有権」と「著作権」について理解する 著作物を利用する方法② 著作物の自由利用について理解する
【後期】 31～34回目	ここまでのまとめとテスト 後期テスト テストの解説
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。